

# すずか税のたより

第131号  
平成29年11月発行

## 主催

鈴鹿納税貯蓄組合  
連合会(習字・作文)  
公益社団法人鈴鹿法人会  
(絵はがき)  
鈴鹿間税会(標語)  
鈴鹿税務署(作文)

## 平成29年度 応募状況

作文

328編

習字

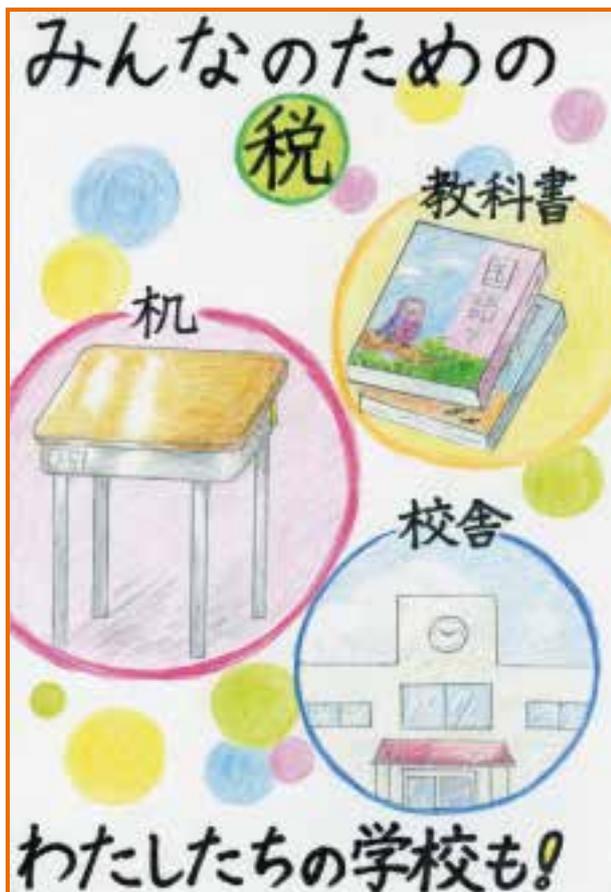
1,343点

絵はがき

1,013点

標語

3,459点



鈴鹿税務署長賞

小学生の絵はがきコンクール

鈴鹿市立神戸小学校

6年 高橋

莉乃

## 小学生の税に関する習字

税金は 社会を想う おもいやり

鈴鹿享栄学園 鈴鹿中等教育学校 1年 椋本 侑

鈴鹿税務署長賞

中学生の税の標語



鈴鹿市立清和小学校  
6年 足立 妃菜

三重県教育委員会賞



鈴鹿市立河曲小学校  
6年 坂倉 花実

鈴鹿税務署長賞

## 中学生の 税についての作文

## 三重県教育委員会賞

## 税・使い方ひとつ

鈴鹿市立平田野中学校  
3年 桐野 結衣

今までの私にとって、税は「いらぬもの」でした。本来なら100円のお菓子なのに、税で更に8円も払わないといけないのです。「どうして税なんてあるの?」とも考えました。

しかし、私がおその考えを改めたのは去年の6月のことです。吹奏楽部に所属していた私は、『ミエ・ユースウィンド・オーケストラ』というものに参加しました。それは、三重県内の中高生吹奏楽部員が対象の、一年間限定の吹奏楽団です。6月に合宿があり、そこから何度かのプロの先生の指導の下、3月の演奏会で発表するというものです。参加する時私は、「合宿もあってバスの送迎もあるし、けっこうお金払わなきゃダメかも。」とっていました。そう思った私の目に飛び込んできたのは、『参加無料』の文字でした。これは参加しなければ損!と考え、慌てて応募しました。その後私が疑問に思ったのは、「どこから合宿代やバス代が出ているのか」です。配られたチラシを見ると、『主催・公財』とありました。公財とは、一定の目的のために提供された財源の集まり、と調べて分かりました。更に調べていくと、この公財には税が大きく関わっていることが分かりました。ということは、このユースは、税金によって成り立っているのではないかと考えました。税のおかげで私達はこのユースをすることができたんだなあと感じました。

他にも私達が税に助けられていることがあるのかなと思ひ、調べてみました。すると、私達が普段使っている身近な公共施設、例えば私の通っている中学校も税によって成り立っています。細かい所まで見ると教科書もそうです。時々クラスの人が教科書の表紙を破っているのを見ます。せっかく教科書もらって勉強させてもらっているのに、そんな態度をとってはいけぬと思ひました。

逆に、最近よくニュースで耳にするのが、『税金の無駄使い』です。例えば、税金を8%に上げたのに、東京オリンピックの施設を建てなおしています。東日本大震災からの復興もまだ完全とは言いきれず、不満の声も多く上がっています。ですが、税金についてしっかり理解せず、どこでどのように税金が使われているかもあまり知らない私達も、同じではないかと思ひます。税金の本来の使いみちを考え、節約して、無駄使いしてはいけぬと思ひます。中学生の私にはこのくらいしか言えませんが、大人になってからもちゃんと考えられるような人になりたいです。

今回のことで、税は私達を育てるため、守るためにあることが分かりました。私はまた高校生になってから、『ミエ・ユースウィンド・オーケストラ』に参加しようと

思っています。その時はこの作文に書いたことを思い出しながら、頑張ろうと思ひます。そして、これからの私の後輩達の為にも、税についてしっかり考えていこうと思ひました。

## 三重県教育委員会賞

## 十五歳の私と税

鈴鹿市立平田野中学校  
3年 木谷 柚香

「税金」と聞いて私達が真っ先に頭に思い浮かべるのは、きっと「消費税」なのではないかと思ひます。なぜなら、買い物で身近に目にするからだ。買い物終わりについレシートを覗んでしまうのは、定価よりも割増しでお金を払っている事に少しばかりの不満があるからだと思ひます。

このように私は、税金に対して良いイメージが全くなかった。無いほうが物を安く買えるのにと何度思ったことだろう。

そんな考えをもっていたとき、私の家の近所に救急車が止まった。大きなサイレン音で家から出てみると、とてもテキパキとその人を運んでおり、呆気にとられた。ふと、救急車は呼ぶのにどれだけ費用がかかるか気になり調べてみた。すると、すべて税金でまかなわれていることがわかった。実際には、一度の出動で、45,000円もの費用がかかっており、さらに日本では42秒に1回、救急車は出動するらしい。そう考えると、莫大なお金を税金でまかなっていると知り、とても驚いた。医療関係でいくと、診察も実際の3割程度しか払っていないらしい。7割は税金でまかなわれるからだ。

いくつか調べてみたが、税金というものは私達を助け、守るものだ気づいた。救急車一つにしても、お金を払わないと運べないとなると、救える命も救えなくなってしまう。救急車は一例であり、私達の身の周りには税金によって運営しているもの、建物、使える物がたくさんある。言いかえると税金は私達人間の生活に無くてはならないものなのだ。ここまで調べてみて、税金イコール消費税だった考えが、税について私は何も知らない、税は奥が深いのだと気づかされた。最初私がおもっていたマイナスのイメージが今では薄まり、消費税という言葉が少し前向きにとらえることができた。私は生活していく上で、もっと税に注目していきたいと思ひた。

私は今中学生だが、大人になると税がさらに身近になると思ひます。税を納めることは、とても意味があることだ。大人になった時、私に何ができるのか。未来に向けての準備を進めていきたいと思ひます。さらに、選挙では、選挙権が18歳以上になったことも重要だ。選挙は「税金を誰に託すのかを決めるもの」らしい。あと3年で18歳となる私達。そう遠くはない未来。はたして、私達は3年で権利をもつことにふさわしい人間になれるのだろうか。いや、なる必要があるのだ。私達は、税や国への知識をもち、深めるべきだ。正しい税金の使い道、存在意義を理解できる人間になっていきたいと思ひます。

## 鈴鹿税務署長賞

### 税金の役割

亀山市立中部中学校  
3年 服部 真奈

私は今まで、税金のことがよく分りませんでした。例えば、買い物や飲食等をすれば絶対に消費税を支払っています。消費税がつくことによって100円で買える物も108円になります。正直なところ、消費税があるのが嫌だなと思っていました。私は小さい頃、お菓子を買った時に消費税がつくことによってお菓子を買う数を減らしたこともありました。でも今回、税金について勉強してその考えが変わりました。理由は、私たちが払っている税金が生活していく中での大きな支えとなっていることが分かったからです。

税金があることによって、火事や事件や事故が起こった場合も消防署や警察署の人達が来てくれます。もし税金がなければ火事が起きて火を消すのにも事件が起きて犯人を捕まえることにも自分でお金を払うこととなります。学校も税金によって建てられ、学校で使っている備品は税金によって買われています。義務教育の間は教育費までが税金で払われています。またゴミ収集・処分なども税金でまかなわれています。税金がなければ日本は汚れてしまいます。

世界の中で税金が少ない国では、医療にも莫大なお金がかかっていると知りました。そのため歯の治療を諦める人もいるそうです。逆に税金が多い国では、医療にほぼお金がいらぬという国もあるそうです。どの国も一長一短だとは思いますが、やはり生活していく上では税金が重要な役割を果たしていると思いました。

今からの日本は、更に少子高齢化が進み、社会保障費が増えていくと思うため、より税金納付と支出のバランスを考えていただければ良いかなと思います。

今年7月に起きた九州北部豪雨などの災害では自衛隊が派遣され、救助及び生活支援、復興のために税金が使われています。災害が起きたとしても税金がなければ大変なことになるでしょう。少し前に私が住んでいる地区でも台風が上陸し、大雨が降って川が氾濫するかもしれないということで避難勧告が出たことがありました。その時は大事に至らなくて良かったのですが、もし本当に川が氾濫したら私たちの地区は悲惨なことになると思います。税金がなければ、自衛隊の人も来てくれません。まさか自分達だけで地区の復興をすることなんて出来ません。そう考えると税金が嫌だなど思うことはありません。

私は税金が生活の大きな支えになっていることを心にしまっておくことが大切だと思います。いずれ私たちも大人になります。そうなった時に日本に生きる一人として胸をはって税金を払えるようになりたいです。そして税金に感謝しながら生きていきたいです。

## 鈴鹿税務推進協議会長賞

### 税の大切さ

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校  
2年 上原 優那

「一人の子供、一人の教師 一冊の本、一本のペン。それで世界は変えられます。本とペンを手に取りましょう。それが私たちの最も強力な武器です。」

これは、マララ・ユスフザイさんの演説の一部です。

当時、私は誰でも学校に通えると思っていたので、演説を聞いてもあまり深く考えることはありませんでした。しかし、中学生になり、マララ・ユスフザイさんの本を読んで、アフリカには貧困で学校に通うことのできない人がいることを知りました。教育を受けずに仕事をしなければいけない、学校に通うためのお金がないなど、学校に通えない理由は沢山あります。私は、少しでも多くの人が、学校に通えるようにならないかなと思い、パソコンで調べてみました。すると、税金が、学校、病院、消防署、警察署、貧困や飢餓に苦しむ国への支援など、さまざまところで役に立っていることを知りました。

学校では、校舎から、授業を受けるときに必要な設備、教科書、学費も税金からできています。私たちが、あたりまえのように学校に行けているのが、税金のおかげだと考えると、ありがたく思いました。

私は将来、仕事をして受け取ったお金の何割かを税金として納めることとなります。もしかしたら、その税金で学校に通えるようになる人が出てくるかもしれません。そして、またその人が仕事をし、税金を納めて……。と、バトンのように税金を通してつながるところを想像すると、税金の大切さを感じました。

マララ・ユスフザイさんの演説から4年がたちました。今は、あの頃よりも、もっと多くの人が学校に通えるようになっています。マララ・ユスフザイさんから教育、税について調べて、税の大切さについて学ぶことができました。

教科書の裏には、「これから日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。」と書いてあります。この期待を裏切らないよう、今まで以上に勉強や部活に努めたいです。



## 鈴鹿税務連絡協議会長賞

### みんなの税金

亀山市立中部中学校  
3年 栗本 理沙

私は、「税」について、沢山の考えを持っています。その中でも今回は二つのことについて書いていきたいとします。

一つ目は、「税金の使われ方」についてです。そもそも税金とは、人がものを買ったときに発生するものです。その税金が、ルートに沿って最終的に国（政府）に行きます。私にとって国というと遠く感じます。なので、身近な所でお話したいと思います。それは、「市町村」です。私は亀山市に住んでいます。私の住んでいる町では、次のような使われ方をしています。

#### 1、道路工事

これは、いろいろな場所で行われていることでしょう。私も、この事はとても役に立っていると思います。しかし、私がよく目にするのは同じ場所ばかりしている気がします。今の私の考え方は、歩行者が利用する歩道を直してほしいです。近所に、歩くのが困難な所があります。健康な人が歩くのに大変な場所は、体の不自由な人にとってもっと大変にちがいません。だから、同じような所ばかりでなく、もっと広い視野でみて不便な所を直してほしいです。

#### 2、公共物

公共物という沢山思い浮かぶことでしょう。その中でも、公園を増やしてほしいです。人口に対して公園が少ないと思います。公園とは、子どもが成長していくのに必要な場所だと思います。更に、子どもだけでなく大人も使えて、地域の方と関わることで沢山の知識を持てると思います。だから、何度も言うように広い視野で見えてほしいです。

二つ目は、「税金の価格」についてです。みなさんは、いつから税金があるか知っていますか。いつからかという、「飛鳥時代」からです。この時代の税金は「租・庸・調」というもので、消費税が導入されたのはつい最近。平成元年からです。当時は、3%でした。5%になったのは、平成9年。8%になったのが、平成26年です。徐々に、上がっています。国民からしたら、上がっていくのは大変な事です。でも、国の方針だから仕方ありません。だからこそ、どんどん上げてほしくないです。何故昔と今を比べると、5%も違いがあるのでしょうか。たしかに今、少子高齢化社会になっています。退職し働けなくなった65歳以上の人に年金を渡しています。生まれてくる子どもよりはるかに高齢者が多いです。それは私たち自身の問題でもあります。子どもの数と高齢者の人数が同じくらいだとどんどん上がることがなくなると思います。

だから、「税」についていろいろな人が考えていくことが必要だと思います。これからの未来をよくするのも悪くするのも未来を背負っていく私たちにかかっていると思います。一人一人が社会に貢献していく必要があると思います。

## 鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

### ふるさと納税は一つのボランティア

鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校  
2年 赤塚 央斉

地方創生、という語句とともに「ふるさと納税」という言葉が、新聞やTVで報道される機会が多くなり、今年に入ってから、政府側の指導も行われて、さまざまな形で実施されている、返礼品についての動きも伝わってきます。こうしたニュースに接する時、ふるさと納税は結果として、高額所得者をますます優遇するシステムではないか、といった疑問も浮かび、税の行方だけでなく、納める側の平等性も注視すべき点だと感じると同時に、税への関心が芽生えてきました。

中学生の僕は、「お金」への関心が稀薄で、「税」という語句も、現実感を伴わないだけでなく、現在8%である消費税が、2%の引き上げ、といった消費増税の報道に対しても、何となく聞き流してしまう、といった状態でした。ところが、「ふるさと納税」のしぐみに興味を持つことで、少し大人になった気分を味わいつつ、今、僕の中に「ふるさと納税は、一つのボランティア」をキャッチフレーズとして、税への種が蒔かれました。

僕が大学を卒業して、故郷を離れて就職したとして、1万円を出身地に納税すれば、自治体に6割のお金が残り、地元農家から約4割相当の返礼品が自治体の代わりに代理送付されます。更に寄付額の8割が、国と居住自治体を通して、住民税や所得税から控除される、という「ふるさと納税」のしぐみから、最終的には、2000円の納税になります。

このように、寄付額の8割に対しては優遇措置があり、2割の納税というしぐみは、まさにボランティアではないかと、考えました。そうならば、社会人一人ひとりが、小さな自己犠牲をプラスに考えて、「ふるさと納税ボランティア」に参加することで地方の活性化や、都市部と地方との絆の深まりにつながっていきます。そして、結果的に、国を支える力となって、社会人としての自覚も育まれ個の力が国の財産になっていくと思います。

ふるさと納税は、寄付金控除による税務面でのメリット・各地方の魅力的な返礼品・ワンストップ特例による確定申告の不要化・自らの税金の使い道の見える化、の4項目を主たる特色として普及してきました。

ところが、所得別の「お得度」の違いは明白で、僕が想像していた通り、所得格差の助長につながる、ということ学びました。例えば、年収6百万円のケースで28,400円のお得に対して、年収1億円のケースならば、1,493,600円のお得になり、高額所得者を優遇する制度、という点が明確になり、僕の税への関心が一層高まりました。

僕は、ふるさと納税について、考えなければならぬ点はあるにしても、切り捨てるのではなく、新しく模索されつつある、返礼品の切り分けとか、ふるさと納税における広域連携という方向を確立し、中学生が税に関心を持ち、ボランティア精神の向上にも効果的であるので、推進すべきだと思います。

小学生の税に関する習字



鈴鹿市立飯野小学校  
5年 山崎 亜純



亀山市立関小学校  
6年 廣森 響



鈴鹿市立稻生小学校  
5年 青木 胡桃



鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

金賞



鈴鹿市立天名小学校  
5年 山中 伊吹



亀山市立亀山西小学校  
6年 鈴木 沙萌

銀賞



亀山市立関小学校  
6年 落合 稀子



亀山市立井田川小学校  
6年 岡 千遥

銅賞



鈴鹿市立玉垣小学校  
6年 大藪 来幸



亀山市立井田川小学校  
6年 服部 心咲



鈴鹿市立玉垣小学校  
6年 後藤 絢



佳作



鈴鹿市立明生小学校  
5年 平子 愛



鈴鹿市立合川小学校  
6年 中島 凜音



鈴鹿市立神戸小学校  
5年 加藤 啓太



亀山市立川崎小学校  
5年 湯浅 未咲

中学生の税の標語

広げよう 正しい理解と 税への知識

鈴鹿市立中部中学校 1年 白川 祥伍

鈴鹿税務推進協議会長賞

これからの暮らしにつながる 君の税

鈴鹿市立鈴峰中学校 1年 青山 心海

鈴鹿税務連絡協議会長賞

とられてる そうじゃないんだ みんなのため

鈴鹿市立白子中学校 1年 角岡 胡桃

三重県間税会連合会長賞

税金が みんなの未来 支えてる

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 瓜生 乃愛

鈴鹿間税会長賞

金賞

人々の 笑顔を守ろう 税金で

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 後藤 れい

銀賞

学ぼうよ 税金の意味と 大切さ

鈴鹿市立中部中学校 1年 中原 悠翔

向き合おう 自分の未来と 税金を

鈴鹿市立創徳中学校 1年 玉田 栞菜

銅賞

納税で みんなの笑顔 広げよう

鈴鹿享栄学園鈴鹿中等教育学校 1年 岡崎 楓河

この国の暮らしによりそう 消費税

鈴鹿市立平田野中学校 1年 菅瀬 奈々

意味あるよ みんながはらう 税金は

鈴鹿市立白子中学校 1年 西山 諒

佳作

税金は 人を支える 軸となる

鈴鹿市立白子中学校 1年 秋田 遥翔

税を知る そこから始まる 国造り

鈴鹿市立天栄中学校 1年 森 萼花

税金は 未来の花を 咲かせるよ

鈴鹿市立平田野中学校 1年 谷口 楓

税金で 笑顔ひろがる 町づくり

鈴鹿市立神戸中学校 1年 的場 和花

税金で 作ろう楽しく 明るい未来

鈴鹿市立中部中学校 1年 竹島 樹梨



小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿税務推進協議会長賞

鈴鹿市立桜島小学校  
6年 鈴木 伶菜



鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿市立深伊沢小学校  
4年 山口 姫依



公益社団法人 鈴鹿法人会会長賞

鈴鹿市立清和小学校  
6年 岡本 紫音



公益社団法人 鈴鹿法人会女性部会長賞

亀山市立関小学校  
5年 若林 結来

中学生の 税についての作文入選者

(敬称略)

三重県 教育委員会賞	鈴鹿市立平田野中学校 3年 桐野 結衣	鈴鹿納税貯蓄組合連合会	銀 賞	亀山市立関中学校 3年 宮野うらら
三重県 教育委員会賞	鈴鹿市立平田野中学校 3年 木谷 柚香			亀山市立中部中学校 3年 伊藤 未結
鈴鹿税務署長賞	亀山市立中部中学校 3年 服部 真奈		銅 賞	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 2年 福間 愛子
鈴鹿税務推進 協議会長賞	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 2年 上原 優那			亀山市立中部中学校 3年 加藤 優羽
鈴鹿税務連絡 協議会長賞	亀山市立中部中学校 3年 栗本 理沙			亀山市立中部中学校 3年 原 朱里
鈴鹿納税貯蓄 組合連合会長賞	鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 2年 赤塚 央斉		佳 作	鈴鹿享栄学園鈴鹿中学校 3年 白澤 諒
鈴鹿納税貯蓄 組合連合会 金 賞	鈴鹿市立平田野中学校 3年 中西 遥香			亀山市立中部中学校 3年 池田空瑠実
				亀山市立中部中学校 3年 西澤 一翔

# 小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿市立清和小学校  
6年 須藤 聖頭

金賞



鈴鹿市立飯野小学校  
5年 荒木 虹美



亀山市立井田川小学校  
6年 山下 愛来

銀賞



鈴鹿市立若松小学校  
6年 後藤 菜香

銅賞



鈴鹿市立石薬師小学校  
5年 藤井 虹花



亀山市立亀山南小学校  
4年 徳田 紗菜



鈴鹿市立清和小学校  
5年 長谷川 せら

佳作



鈴鹿市立稻生小学校  
5年 上江洲 佑晟



亀山市立神辺小学校  
5年 船木 結月



鈴鹿市立牧田小学校  
6年 勝田 凜乃



鈴鹿市立庄内小学校  
5年 山田 望央奈